

## 第4節 主催事業

### 1 集団宿泊指導担当者研修会

#### (1) 趣 旨

当所を利用しての研修活動がより円滑に展開し、それぞれの団体の研修目的が十分達成されるようにするため、所と利用団体の連携を密にするとともに、研修活動に必要な知識や技術等を高める。

#### (2) 期日・参加者数

5月29日(金)～30日(土) 1泊2日 32名

#### (3) 対 象

7月から平成11年3月までの間に当所を利用し、研修活動を行うことを予定している団体の指導者

#### (4) 内 容

- (a) 講 義「相馬海浜自然の家における効果的な研修活動について」
- (b) 演 習「研修プログラムの編成について」
- (c) 実技及び野外活動踏査
  - ① サイクリング ② ナイトハイキング
  - ③ キャンプファイヤー
  - ④ スコア・オリエンテーリング
  - ⑤ ウォークラリー ⑥ フィールド・ワーク
- ※ キャンプ場利用団体の指導担当者で希望者を対象に「キャンプのしかた」「キャンプファイヤーの進め方」についての説明を行う。
- (d) 活動エリア内の施設等の見学

### 2 夏休み親子海浜のつどい

#### (1) 趣 旨

輝く太陽の下、「日本渚の百選」に選ばれた大洲海岸で海水浴や磯遊び等親子で海浜の自然に親しみ、夏休みの楽しい思い出をつくとともに、親子のふれあいを深める。

#### (2) 期日・参加者数

7月25日(土)～26日(日) 1泊2日 136名

#### (3) 対 象

県内の小学生・中学生とその保護者

#### (4) 内 容

海水浴 釣り キャンプ・ファイヤー  
砂の芸術、磯遊び等

### 3 シーサイドヤングフェスティバル ・青春海への挑戦

#### (1) 趣 旨

輝く太陽と紺碧の海、太平洋を吹き抜ける爽快な潮風の中海浜の自然に親しみ、海洋性スポーツ活動に挑戦しながら、若者のふれあいと友情の輪を広げる。

#### (2) 期日・参加者数

8月8日(土)～9日(日) 1泊2日 48名

#### (3) 対 象

県内に在学する高校生・大学生・勤労青年等

#### (4) 内 容

- (a) 海浜活動：OPヨット、カヌー、ローボート、カッター他
- (b) 野外活動：海水浴、海浜ゲーム
- (c) フェスティバルの夕べ：キャンプファイヤー、花火

### 4 海浜てらこや塾

#### (1) 趣 旨

発想豊かな子どもたちでプログラム作成委員を構成し、子どもたち自身の求める活動を主体とした手作りのプログラムに基づく楽しい活動を行い、子どもたちの自主性を高めるとともに多くの仲間をつくる機会とする。

#### (2) 期日・参加者数

12月12日(土)～13日(日) 1泊2日 38名

#### (3) 対 象

小学校高学年の児童

### 5 学校週5日制対応事業

#### (1) 趣 旨

学校週5日制の実施に伴う休業土曜日における青少年の幅広い活動の機会を設け、自然体験活動等を通して参加者の情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し、もって、健全な青少年の育成に努める。

#### (2) 対 象

県内の小・中学生とその保護者

#### (3) 実施日・事業名・参加人数

- ① 5月23日(土)「トムソーヤの冒険」57名
- ② 6月13日(土)「松川浦で潮干狩り」128名
- ③ 6月27日(土)「地引網に挑戦」105名
- ④ 9月12日(土)～13日(日)  
「ロビンソンクルーソーの原始生活体験」54名
- ⑤ 9月26日(土)「サイクリング in 松川浦」50名
- ⑥ 10月24日(土)「親子でフィッシング」94名
- ⑦ 11月14日(土)「鹿狼山から太平洋を眺めよう」57名

### 6 第1回「自然の家」わくわくフェスティバル in SOMA

#### (1) 趣 旨

財団法人福島県自然の家は少年自然の家も含め県内4施設を統合し、この4月から再スタートした。地域と共に歩む自然の家の楽しい活動を広く理解していただくため相馬の朝市、わくわく体験学習、わたあめづくり、講演会、潮さい音楽祭など「見る・聞く・創る・食べる」という楽しみをメインとして実施する。

#### (2) 主 催

(財)福島県自然の家 参加費は無料

#### (3) 実 施 日

11月21日(土) 参加者総数 953名

#### (4) 会 場

福島県相馬海浜自然の家